

研究室からちょっとひとこと 2023夏

～アメリカに比べなんと1.6倍も！～

『なぜ？』日本人のガン死亡率だけが増える？



日本人の2人に1人が一生のうち「ガン」と診断され、うち4人に1人が「ガン」でお亡くなりになっています。

ガンは日本人の死亡原因NO.1

日本では年間約100万人が新たに「ガン」と診断され、年間約40万人の方が「ガン」で死亡しています。現在、実は先進国においてはガンが原因の死者数は年々減り続け、欧米においては大体年5%ほど減ってきています。

ところが日本では、相変わらずガンで亡くなる方の数は増加しています。米国と比べると、人口10万人当たり換算すると、日本の死亡率はなんと米国の1.6倍です。

先進国はいまやどこでも同じようなライフスタイルで生活しています。それではなぜ日本だけ死亡率が増加しているのでしょうか？

多様な治療法を実行しはじめている欧米、 50年前と同じ凝り固まった療法に固執する日本

がん大国の欧米諸国では、「抗がん剤は増がん剤である」と見限られつつあります。米国では2000年ごろから免疫や遺伝子医療などの代替療法などにシフトしてきています。一方、日本の標準医療は「手術、抗がん剤、放射線」のおきまりの3点。

ガンと診断されるとまるでエスカレーターに乗るようにどんどん進み、やがて「あなたにもう使える抗がん剤はないので、『緩和ケア』に移行しましょう。」と担当医に宣告されてしまいます。

『緩和ケア』とは聞こえはいいですが、実際は何も治療しない、ただ痛み止めを打つだけの処置です。「冗談じゃない！私にはまだまだやるべきことが残っている！」とみなさん思うはずです。

着実に実績をあげる『水素』医療

一方、『水素』をガン治療に応用して、1000以上の症例実績をあげている赤木医師のような医師も存在します。その赤木先生を中心に、『国際水素医療研究会』も活動しています。



正会員は研究者と医師のみ、小生も正会員登録しております。先日、今年で3回目になる年に1度の研究報告会が、先日東京大学(本郷キャン

パス)にて行われ、興味深い報告が何例も発表されました。

一方で、ガン患者の深刻な悩みにつけこんで、何百万円もの治療費をとるいわゆる自由診療の『悪徳』医師もはびこっていますので、注意が必要です。

水素は21世紀のクリーンエネルギーのエースとして、地球の環境汚染緩和のため注目されると共に、酸化した細胞を元気にする効果があるため、健康生活への応用にも期待が高まっています。

オススメ! 日本初!腫瘍免疫の専門医が初めて
書いた「水素ガス免疫療法」の解説書

腫瘍免疫の専門医であり、外科医であり、医学博士でもある赤木医師が実際に末期ガン患者を多く救った例を多数掲載。免疫業界、ガン治療の権威として、科学的アプローチで執筆された最新の解説書です。

赤木純児著 辰巳出版 (2019/9/18発売)

